



希望を胸に 705人が大人の仲間入り

大人としての門出を祝う成人式が1月13日に東総文化会館で開かれ、色鮮やかな振袖や初々しいスーツ姿の新成人705人が、新たな希望を胸に大人の仲間入りを喜び合いました。

式典ではお祝いと激励の言葉が贈られた後、新成人の代表5人が大人としての自覚や感謝の気持ちを発表。続いて行われたスライド上映では、まだ幼さの残る中学生時代の写真が映し出されるたび大きな歓声があがるなど、和やかな雰囲気では、なつかしい顔を見つけては連絡先の交換や記念撮影をする姿が多く見られました。



▲伊藤市長から記念品を受け取る山口由香子さん(飯岡：写真中)と宮賀哲さん(清和乙：写真右)



▲開式のことばを述べる伊藤部仁さん(西足洗)



▲閉式のことばを述べる林千晴さん(中谷里)



▲ピアノ伴奏の嶋田優美さん(見広)



新成人アンケート

新たに大人の仲間入りをしたみなさんに直撃インタビュー!

質問 ①今、一番関心があることは

②将来の夢は ③旭市をどう思う ④自由な意見をどうぞ



黒澤千里さん
(鎌数)
会社員

①仕事のこと ②結婚していいお母さんになる ③車の渋滞もあまりなく住みやすい ④これからも友達みんなと仲良く



越川馨太さん
(松ヶ谷)
専門学校生(福祉関係)

①福祉について ②介護士になりたいです ③住みよいので今のままであってほしい ④卒業して仕事をがんばりたい



伊藤綾乃さん
(萬力)
専門学校生(保育関係)

①うーん... ②保育士になること ③合併してよかったと思う ④社会にでてはまずくない大人になりたい



振り返りと展望

戸田由利亜さん (二(新川)) 大学生

成人式を契機に、自分の20年を思い返した方は多いのではないのでしょうか。私の大切な思い出には、いつも誰かがいてくれたことに気付きます。今の私が持つ責任感や積極性、思いやり、自信は、かつて背中を押してくれた誰かとの関わりがなければ、持ち得なかったと思います。家族はもちろん友人にも恵まれましたし、つらいときなど支えてくれた先生方には本当にお世話になり感謝しています。素直な感謝の気持ちを伝えられたらと思います。20歳になりましたが、実感はわかりません。子どものころ描いていた大人とは距離があるようですが、ゆっくりとかっこいい大人に近づいていこうと思います。いつか自分の子どもが、母親みたいな大人はきらいじゃないな、と思うような人になれていれればいいです。将来、まだ何が起こるか、どうなっているのか想像つきませんが、自分らしく自然で、人のことを大切にできる大人であれたらと思います。



成人式を迎えて

林 文彦さん (中谷里) 大学生

私たちは、本日を持って大人の仲間入りをしました。この人生において非常に大きな節目を迎え私が思うことは、「周りの人たちの支えがあったから今の自分がある」ということです。私たちは大人になるにあたって、期待されると同時に大きな責任も伴うことになります。選挙の投票率の低下や飲酒運転などは、まだ一人一人が大人としての責任ある行動ができていない証拠だと思います。私たちが率先して大人としての模範となる行動をし、次世代に引き継いでいけたらこの町の未来は明るいと思います。また大人になったことを行動で示すことが、今までお世話になった人への恩返しにもなると思います。まだ先は長く不安なこともたくさんあると思いますが、くじけず頑張っていきます。周りを見渡せば、きっと手を貸してくれる人がいるはずです。手を取り合って支え合いながら生きていきたいと思います。



成人式を迎えて

衣鳩美希さん (萬歳) 警察官

今、成人式という大きな節目に改めて自分を振り返ってみると、いつも見守ってくれた家族、お世話になった先生方、そしてたくさんの友達の支えを受け今の私がいるのだと、とても感謝しています。その中でもやはり一番大切なものは、友達です。友達の数は自慢できるほど多くはないと思いますが、私の人生でとても大きな力となっていることは間違いありません。落ち込んでいたとき一生懸命励ましてくれたこと、これをきっかけに、友達は素晴らしい宝物であり、一生の宝物だと強く感じました。社会では、悲しい出来事がたくさん起こっていますが、これを改善していくために大切なのが人とのつながりだと思います。生きていけばいいことや壁にぶつかることも二人、三人になればきっとできるはずです。これまで支えてくれたたくさんの方々へ感謝の意を持ち、決して一人ではないということを胸に刻み、今後の人生を送りたいと思います。



成人式を迎えて

神原真人さん (飯岡) 大学生

私は今、環境学を学んでいます。旭市は、一見豊かな自然が多いのですが、決して安心できる状況ではありません。この地域環境の問題は最優先で取り組まなければいけない課題だと思いますが、これを解決するには、まず一人一人が自覚することが大切です。大人になった今、人と自然との共生についても視野を広げ、一人一人が社会に貢献するという意識を持ち、行動を起こすべきだと考えます。私は将来、理科教師になり次世代に環境教育することが目標です。また教育を通じて地元や地域社会に貢献できればいいと考えています。20年という長い年月、苦勞をし、育ててくれた両親に感謝し、これからの人生の中で孝行していきたいと思います。また、ここまで自分が成長できたのは「朋友」という友人と共に歩んできたからです。これからも感謝の意を持ち続け、チャレンジ精神で夢に挑みたいと思います。



新たなスタート

上杉明寛さん (琴田) 専門学校生

今、こうして勉強や趣味に充実した日々を送ってられるのは、自分が努力してきたことや両親や先生方が精一杯の愛情でここまで導いてくださったからだだと思います。私は、この春から東京での一人暮らしが始まります。これまで両親に保護されて生活してきたわけですが、これからは自分の足で歩いていきます。知らない世

界に飛び込んでいくことは勇気のいることですが、得られるものは自分にとってこれ以上ない大切なものになると私は思います。それは、これからの20代の生活を迎えても言えることではないのでしょうか。社会という新しい環境で戸惑い、失敗することもあると思いますが、努力を怠らず新しい人との出会いを大切に、一人の人間として今まで以上に成長した姿を両親に見せていきたいなと思います。目指せ素敵な大人！



高野一樹さん
(三川)
専門学校生(自動車整備)

①自分の将来 ②福祉の仕事につきたい ③周辺に比べると栄えているし地元で就職したい ④両親をはじめ周りの人たちに感謝してます



新井理恵さん
(鎌数)
大学生(福祉関係)

①6か月前からはじめたサーフィン、冬はスノーボード ②仕事するので・・・ ③住みやすいと思う。これからもそうあってほしい ④友達、家族仲良しです



古橋忠寿さん
(二(袋))
技術職(電気関係)

①車が好きます ②自動車整備士 ③成田とか行かなくても市内で用がすむようになればと思う ④自動車に関係する税の使い道あまってるなら安くして！